

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2021年5月①号

急拡大する新型コロナウイルス感染症の対策に 関する緊急申し入れ

日本共産党京都市会議員団

日本共産党京都市会議員団は4月19日に、「まん延防止等重点措置」適用を受け、感染防止と経済、くらしの支援対策のための補正予算を早急に組み、4点について 対策を強化することを求めました。

- 一、無症状感染者の早期発見・保護のための大規模検査を行うこと。高齢者入所施設に限らず、通所や訪問系施設、医療機関、障害者・児施設、児童福祉施設等に検査対象を広げ、定期的に繰り返し検査を行うこと。感染源を探知するためのモニタリング検査についても規模を大幅に拡大すること。変異株の検査についても検査体制を拡充すること。
- 一、業種や影響の大小に関わらず、すべての事業所の営業継続を最重点に、固定費補助の拡大や 損失補てん、給付金などの対策を緊急に実施すること。また、持続化給付金を再給付すると 共に、一時支援金については金額の引き上げや申請手続きの簡素化、期限の延長などを国 に対して求めること。
- 一、生活困窮者への支援の抜本的強化を国に求めるとともに、市として実態把握と支援を強化すること。
- 一、市民に対して、ワクチン接種の予定や手続き等についての情報を迅速かつ的確に提供すること。



玉本なるみ市議は共産党市会議員団のコロナ対策本部事務局として、申し入れの内容を市に対して説明しました。(左から3番目)

毎月19日は、戦争法反対の行動日

発端は、2015年9月19日。安法法制（戦争法）成立後から粘り強く、廃止を求める行動ですが、今は戦争法のことだけでなく、沖縄辺野古の新基地建設反対の運動や、京都市の行財政改革の問題、コロナ感染の対策の問題など、団体や個人の皆さんが声を上げています。今回はコロナ感染の病棟で勤務する看護師さんの発言が心に染み入りました。コロナ感染で亡くなられた患者さんは最期家族の看取りもできず、辛い場面にも立ち会ってきたこと。医療現場の厳しい労働実態など紹介がありました。



右端が玉本なるみ市議

つばやき：若者の「気候マーチ」格好いい！

先日、気候変動に危機感をもっている人たち全世代が集まり、デモ行進が計画されていましたが、コロナ感染が拡大する中、京都ではリーダーシップを発揮されていた大学生さんが、「代表で学生2人で歩きます」ときっぱり判断。私たちは見送りました。気候変動への取組は若い人の活動が光っています。



プラカードなどを手に河原町を歩く学生さん2人

右写真：左からクラリネットを吹く私、ピアノを弾く娘、バイオリンを弾く夫



びったりだったのと、いつか3人で演奏したいと思っていたところが実現し、嬉しかったです。まあまあ好評でした。

最後花束でなく、「お父さん、お母さんへ」と感謝状とアレンジメントの花箱をもらい、娘からの手紙の披露で夫の方が涙で感動していました。

やっとできた結婚式

アンテナ

コロナウイルスの感染拡大の波が何度も来る中で、2回延期にしていた次女の結婚式がやっとできました。サプライズと手作り感満載の心温まる結婚式。披露宴でした。親の出番として、定番は最後に新郎の父親の挨拶があるわけですが、新婦側の親の出番も作ってほしいと要求し出番を作ってもらいました。二人のために挨拶だけでなく、何かしたいと考え、最初はサプライズで、演奏をビデオ撮影し放映してもらおうと思っただけですが、著作権の関係で、生で演奏して欲しいと言われ、結局、娘のピアノと夫のバイオリン、私はクラリネットとミーシャのアイノカタチ」を演奏しました。歌詞がとてもステキで二人にぴったりだったのと、いつか3人で演奏したいと思っていたところが実現し、嬉しかったです。まあまあ好評でした。

